観たい! 聴きたい! 遊びたい!

無料で楽しめる 公開スペース

赤坂・青山地域で無料で利用できる公開スペースを、編集委員がピックアップ!
日々の喧嘩の中で安らぎを感じたり、音楽やアートを楽しんだり、テクノロジーに触れたり、思いっきり走り回ったり、大人も子どもも共に楽しみましょう!!

新型コロナウイルス感染症の拡大により、休館日、営業時間などが通常と異なる場合があります。最新情報は各ホームページをご確認ください。

赤坂のほっこりオアシス

「赤坂インターシティAIR」

赤坂と虎ノ門の境界線に程近いロケーションに平成29年(2017)9月にオープンした超高層複合ビルで、赤坂地区では2番目に高い建物です。

この施設の大きな特徴のひとつが「5,000m²以上の緑豊かなオープンスペースがあることです。この喧嘩たる界隈でビックリするような“憩いの場”が創出されています。

ここには高木木およそ150種類 550本もの樹木があり、設計者自ら1本1本選び抜き、スタッフと植栽管理も行っているのです。設計者の方いわく「建物とともにこの“緑”を育てていくことが大切」とのこと。複合施設にしてこの考え方、ちょっと感動です。建物がメインではなく、地域の環境を最大限重視している姿勢が表れています。平成30年(2018)のグッドデザイン賞をはじめとする多数の受賞もうなずけます。

月1回(不定期ですが)剪定した樹木を無料でおすそわけするミニイベントもあるそうです。こういう時期だからこそ、という心配りに少しほっこりしませんか? そんな細やかな配慮はこのオープンスペースだけではありません。災害が起きた場合など、このビルでは最長で200時間の運転が可能非常用電源が確保されています。また、周辺ビル施設などと連携して、地域熱供給[®]を一貫して担い省エネ等に貢献しています。周辺施設・地域との連携にしっかり取り組んでいます。

「へ〜、新しいビルができたんだあ。どんなお店が入っているのだろう?」なんて考えがちですが、新しいまちづくりに真摯に取り組む姿勢が随所に散りばめられた「新たなオアシス」、少し視点を変えて散策してみるのも一興ではないでしょうか。

※地域熱供給:冷水や温水等を一ヶ所でまとめて製造し、供給するシステム

ビルの周囲をぐるりと囲うように配置されたインターシティガーデン。水辺空間もあり、まさに都会のオアシス。秋冬の風情も趣があります

剪定した樹木の無料配布、ほっこりイベントです

パンフレットも力作です! ぜひ手に取ってみてください

INFORMATION
赤坂1-8-1
https://intercity-air.com/

和菓子の歴史・文化を伝える

「虎屋 赤坂ギャラリー」

和菓子の老舗「とらや」の始まりは、室町時代後期の京都。日本の和菓子の礎を築いた名店です。明治時代に京都の店はそのままだに東京にも進出し、現在は青山通りに面した赤坂警察署前交差点の南東一角に赤坂店を構えています。

地下1階にある「虎屋 赤坂ギャラリー」では、和菓子にまつわるテーマで展示を開催し、虎屋秘蔵の収蔵品を無料で見ることができます。4月5日(火)までの「とらやと楽しむ寅年展」では、虎に関する数々のエピソードが紹介され、虎と一緒に撮影できるフオトスポットも登場します。また、2階のショップで販売している虎の模様があしらわれた赤坂店限定の羊羹は、寅年の手土産にも喜ばれそうです。3階の虎屋菓寮(喫茶)では、冬季限定の蒸したての酒釀頭や、1月下旬から始まる粟に熱々のこしあんがかかった「あわせんざい」がおすすめです。

ギャラリーで知識を得たあとに楽しむ和菓子は格別です。寒さが厳しい中ですが、少し足を伸ばして熱々をいただいでみてください。

平成30年(2018)にリニューアルされた建物。設計は建築家・内藤廣氏。青山通りの新しいランドマークになっています

さまざまな展示が開催されている「虎屋 赤坂ギャラリー」。2万ピースもの吉野の檜(ののき)の無垢材を使用した壁面が圧巻

寒い冬にぴったりの「あわせんざい」

虎の模様がかわいい羊羹「千里の風」

INFORMATION
赤坂4-9-22 ☎03-3408-2331(赤坂店)
https://www.toraya-group.co.jp/

文化が生きる、アートが広がる

「スパイラルガーデン」

SPIRALのロゴ入りフラッグに誘われるように足を踏み入れ、エントランスショップやカフェを通り抜けると、そこはアートの世界。

ある時は北欧の人気ブランド「マリメッコ」の元デザイナーのテキスタイル展や、文化的価値のあるコレクションが観られる特別イベント、またある時は若手作家の支援の場として、アートフェスティバルや美術大学の卒業作品展など、ジャンルや世代を超えたビジュアルアートに触れることができるギャラリー「スパイラルガーデン」が広がります。

昭和60年(1985)10月に株式会社ワコールが、「生活とアートの融合」をテーマに、文化の事業化を目指して青山にオープンした複合文化施設「スパイラル」。名称は螺旋状に上昇していくイメージを表現した外観とギャラリーなどの内部構造に由来しているそう。

由來、令和4年(2022)1~3月は芸術大学・美術大学の卒業作品展を、3月22日(火)~4月3日(日)は現代アート作家の曾谷朝絵の個展を開催予定。

また、年に一度開かれるSICF(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)など、3階のスパイラルホールと連携した若手アーティストの公募展も人気を集めています。

石本藤雄展「マリメッコの花から陶の美へ」(2019)会場風景
撮影:大谷宗平(ナカサンドパートナーズ)
©スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

スパイラルガーデン。自然光があふれるアトリウム、ギャラリーと隣接するカフェ、2Fへと続く大階段で構成される、最も象徴的な空間。展覧会やパフォーマンス開催

曾谷朝絵展(仮称):令和4年(2022)3月22日(火)~4月3日(日)
©スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

INFORMATION
南青山5-6-23 ☎03-3498-1171
https://www.spiral.co.jp/

ランチタイムのぜいたくなひととき

「サントリーホール オルガンプロムナードコンサート」

赤坂アークヒルズの一部にたたずむサントリーホール。「世界で最も美しい響き」をコンセプトに、昭和61年(1986)秋に誕生しました。ステージを取り囲む日本初のヴィンヤード(ぶどう畑)形式の大ホールは、すべての客席で美しい音楽が鑑賞できる設計。正面には荘厳な輝きを放つパイプオルガンが配され、指揮者カラヤンの「オルガンのないコンサートホールは、家具のない家のようなもの」の言葉どおり、ホール全体がオルガンと一体になった高貴な楽器のようです。

ここで入場無料で楽しめるのが、「サントリーホール オルガン プロムナード コン서트」。月に1回、平日のランチタイムに30分間開かれ、多くのリピーターが訪れています。コロナの影響で現在はメンバーズ・クラブ会員のみ入場できますが、日によってはオンライン配信も。「おらが村のホール」を目指して、地域とのつながりの取り組みを続けるサントリーホール。新たな文化の創造に、これからも目が離せません。

コンサートは、オルガニスト自身の自由な選曲で、バロックから現代曲まで演奏される。世界最大級のパイプ数5,898本を誇るオルガンの多彩な響きが、オーク材がふんだんに使われた温かみのある空間のすみずみまで降り注ぐ

INFORMATION
赤坂1-13-1
☎0570-55-0017(サントリーホールチケットセンター)
http://suntory.jp/HALL/

写真提供:サントリーホール(表紙オルガン画像含む)

赤坂駅と直結。待ち合わせにも便利!

「赤坂Bizタワー ショップ&ダイニング アトリウム」

赤坂Bizタワーは、平成20年(2008)にオープンし、赤坂サカスの一角をなす、オフィス兼商業ビルです。地下鉄千代田線の赤坂駅と直結している赤坂Bizタワーは、地下1階から2階までの商業施設となっており、老舗からトレンドのレストラン、物販など気軽に食事とショッピングが楽しめる施設です。

中央の吹き抜けは、自然光がゆるやかに入る、居心地の良いダイニングのような空間。1階のアトリウムは、ショップのにぎわいがそのまま伝わる活気ある雰囲気、2階は、ピアノの自動演奏などもあり、ホテルのような落ち着いた雰囲気となっています。また、昼と夜でも雰囲気が変化し、フロアや時間帯によって、さまざまな表情を楽しむことができます。

冬の季節は、イルミネーションなどのイベントが開催され、周辺はわくわくするような空間が広がっています。お散歩コース、ショッピングの合間のひと休み、待ち合わせなど、いろいろな場面で利用したくなりますね。ぜひ訪れてみてください。

人が行き交う1階アトリウム。エレベーターで2階に上がるとピアノが置かれています

仲通りも自由に行き来できる空間

恒例のイルミネーション「赤坂サカス 音×テラス 2021-2022」を2月20日(日)まで開催。冬の赤坂を鮮やかに彩ります

INFORMATION
赤坂5-3-1
https://mitsui-shopping-park.com/urban/akasakabiztower-sd/

バーチャルでも楽しめる

「TEPIA先端技術館」

未来社会の発展のために役立つ最新の先端技術を、子どもたちにもわかりやすく情報発信している「TEPIA(てびあ)先端技術館」。現在リニューアルで休館中ですが、館内を仮想3Dで表現し、日本や世界からも見学できるバーチャルミュージアム「デジタルTEPIA」を公開しています。

パソコンで見ると3D空間が現れ、自分で歩いているような感覚で見学することができます。「暮らし、経済」、「社会」、「地球、生命」などのコーナーがあり、新しいテクノロジーが動画を交えて楽しく紹介され、「若者イノベーター」の学生たちが考えたロボットやプログラミングには、技術大国日本の次世代に明るい未来を感じます。

スマートフォンやタブレット端末などでも手軽に見ることができ、先端技術やモノづくりのおもしろさに触れてみてはいかがでしょうか。

また、令和4年(2022)2月以降のTEPIA先端技術館のリニューアルオープンに合わせ、新設されるクリエイティブラボではモノづくり体験の講座も予定されています。

デジタルTEPIA
https://digital-tepia.com/

新設予定のクリエイティブラボ。現在自宅に参加できるオンライン講座を開催中!

リニューアルオープン前に一足先に「TEPIA先端技術館」をバーチャル体験!

「若者イノベーター」のコーナーでは、学生クリエイターのインタビュ映像も見られます

ニューノーマル時代ならではのテクノロジーの紹介も

INFORMATION
https://www.tepia.jp/

青空の下で思いっきり走り回れ!

「遊び場開放」(赤坂小学校、青山小学校、青南小学校)

「外で自由に遊びたい!」—そんな子どもたちのために、昭和46年度(1971)から始まったのが、区の「遊び場開放」の取り組み。通い慣れた近くの小学校の校庭が月1程度開放され、子どもたちが気兼ねなく走り回ることができます。キャッチボールをしていたかと思うと鬼ごっこに変わったり、バスケットボールに飽きたらドッジボールを投げ合ったりと、興味の対象を次々と変えながら楽しむ子どもたちののびのびとした姿が印象的です。

遊び場開放の最大の特徴は「安全」。交通事故などの心配がないのはもちろんのこと、校庭には大人の「遊び場開放指導員」が配置されていて、子どもたちがより安全に遊べるよう温かく見守っています。ときには大生のお兄さん・お姉さんが遊び場開放指導員として参加することがあり、子どもたちの遊び相手になってくれます。

お友だち同士、ご家族などでぜひ、ご利用ください。

ご利用にあたって

- 小学生以下の子どもとその保護者(高校生以上)の方が無料で利用できます(中学生以上だけでの利用はできません)
- ご予約や登録は必要ありません
- ご利用時にお名前と保護者の方の電話番号の記入が必要です
- 雨天や荒天時などは中止になる場合があります
- 開放時間:午前(通年)10:00~12:00、午後(4~9月)13:00~17:00/10~3月13:00~16:00

子どもたちの遊び方はフリースタイル!力が尽きるまで走り回れる遊び場開放専用の遊具も貸し出されています

1月~3月の開放日

- 赤坂小学校:3/6(日)13:00~16:00
- 青山小学校:1/16(日)13:00~16:00、2/12(土)10:00~12:00、3/27(日)10:00~12:00
- 青南小学校:2/20(土)13:00~16:00、3/27(日)13:00~16:00

※青山小学校と青南小学校は、雨天時、体育館を利用できます。

イベント情報!

遊び場開放指導員と遊ぼう!

3/6(日)赤坂小学校 3/27(日)青山小学校、青南小学校
時間 13:00~16:00

- ボール:ペットボトルのピンを色々なしゆるいのボールでおたよう!
- まど当て:おりがみで自分の好きな形を作ってまどに当てよう!
- わなげ:トナカイの目標に新聞紙の色々な大きなサイズの輪っかを投げつけて輪っかをかけよう!

※内容は変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ご利用上の禁止事項、開放予定などをあらかじめホームページでご確認のうえ、ご来場ください(学校行事などの都合で、予定が変更になる場合があります)

https://www.city.minato.tokyo.jp/sports/asobiba31.html